

平成23年度第6回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会の概要

○ 日 時： 平成23年11月30日（水） 16時～18時5分

○ 場 所： 京都市立病院 4階会議室

○ 出席者： 理事長 内藤 和世
理 事 森本 泰介, 新谷 弘幸, 棚橋 一博, 桑原 安江, 位高 光司,
山本 壯太, 小西 哲郎, 木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則

○ 次 第

1 開会

2 議事等

(1) 平成23年度上半期実績報告

(主な質疑内容)

○ 人間ドック関連

→ 当院の健診センターは、優良総合健診施設に認定されている。同センターにおける人間ドックの特徴として、ワンフロアでの検査が可能であり、コンパクトかつ利便性が高く、リピーター率も高い。

○ 看護師関連

→・ 当院は、一般的な急性期病院に比べ、夜勤回数や超過勤務時間等の面で働きやすい環境にあり、若年層を含めて看護師の離職率が比較的低い水準にある。
・ 認定看護師（日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師）の計画的な育成に努めている。今後は、認定を受けた分野の業務への専従体制を整備するなど、認定看護師の強みを生かした看護サービスの提供を行っていきたい。

○ 救急業務関連

→・ 病院としての受入人数に限りがある中で、救急車をタクシー代わりに利用する患者への対応については、課題があると認識している。抑止策として、かかる患者に対し、費用徴収をする病院もある。
・ 現在進めている新棟の整備に伴い、当院は、三次救急（二次救急まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対する医療）を受け持つ病院へと機能をシフトさせていきたい。

○ インシデント関連

→ インシデント（事故に発展する前の段階で止められた、いわゆるヒヤリ、ハットの事例）を集積、分析することで、今後の未然防止策を講じていくことが重要である。インシデント報告の多い部署を表彰するなど、積極的に報告する風土づくりを進めている。

○ 財務諸表関連

- ・ 運営費交付金は根拠に基づき算出している。政策医療を担う以上は、今後も経費等に見合う適切な金額を市に交付してもらおうということに変わりはない。
- ・ 法人の将来的な資金需要に備え、利益剰余金の積み増しを行っていきたい。

(2) 平成23年度補正予算について

(3) 地方独立行政法人京都市立病院機構職員給与規程の改正について

3 閉会